大正十年九月二十日　印刷工新聞　第九號　(一)

印刷工新聞

發行日毎月二十日限
編輯兼發行人　賀川豊彦
印刷所　大阪印刷工組合印刷部
大阪市西成區鷗通二丁目三番地
發行所　大阪印刷工組合

勞働時間と勞働能率

勞働時間の制限は心理的に來るものである。百姓の勞働は面白い所が多く變化があるので長時間でもあまり苦しくは無いが、氣を遣ふてする仕事は、すぐ疲れて仕事が出來なくなる。この點から云へば機械的勞働の激烈は甚しもの苦痛が無いにしても、それに加へるに心理的の壓迫が加はるならば、勞働者は耐へられ無いのである。

この點から云ふて勞働は二つに別けることが出來る。第一は强制勞働であり、第二は自由勞働である。

强制勞働は、奴隷の勞働であつて、有名な經濟學者シュモラーなどの云ふ所によると昔の奴隷の勞働は今日の自由勞働者の三分の一の能率しか無かつたと云ふことである。つまり心理的に强制せられた勞働には何の面白味も無いので、勞働は苦痛であり、不快であるから能率が上ら無いのである。

近世自由交易の發達と、自由勞働なるものが進んで來たが勞働時間の制限は心理的に來るものである。百姓の勞働は面白い所が多く變化があるので長時間でもあまり苦しくは無いが、氣を遣ふてする仕事は、すぐ疲れて仕事が出來なくなる。この點から云へば機械的勞働の激烈は甚しもの苦痛が無いにしても、それに加へるに心理的の壓迫が加はるならば、勞働者は耐へられ無いのである。

この點から云ふて勞働は二つに別けることが出來る。第一は强制勞働であり、第二は自由勞働である。

强制勞働は、奴隷の勞働であつて、有名な經濟學者シュモラーなどの云ふ所によると昔の奴隷の勞働は今日の自由勞働者の三分の一の能率しか無かつたと云ふことである。